

## はしがき

最近、消費者の間で不用品等の有効な活用方法として、いわゆるフリーマーケットや、リサイクルショップ、自治体のリサイクルコーナー等の利用が人気を呼んでいる。

その要因としては、1990年代以降、リユース（再使用）、リサイクル（再生）といった環境保全の意識が消費者に定着しつつあることや、消費社会が成熟した結果の価値観の多様化、景気の低迷感に伴う節約意識等が考えられる。

フリーマーケットは、当初は首都圏や大都市が中心であったが、最近では全国的に広がりを見せ、開催の目的も単に不用品の販売だけのものから、地域のイベント的なもの、売上金の一部を福祉活動に役立てるもの等、多様化しつつある。

また、リサイクルショップも急増しているといった現状がある。

本書は、フリーマーケットやリサイクルコーナー、リサイクルショップについてそのサービス内容を調査し、まとめたものである。

なお、フリーマーケットとは、まだ使える家具や衣類、家庭で眠ったままの不要な贈答品等を必要な人に安価で販売するもの。リサイクルショップとは消費者から持ちこまれた品を買い取ったり、委託を受けて販売したりする店舗のこと。リサイクルコーナーとは、自治体が市民から持ち込まれた品を委託販売したり、粗大ゴミ等の回収を通じて修理・再生したものを安価（または無料）で消費者に譲るといったものである。

最後に、アンケート調査や取材等にご協力いただいた各団体や自治体に深く感謝の意を表したい。

1998年3月

国民生活センター

## 目 次

# I. フリーマーケット、リサイクルショップ、 リサイクルコーナー入門編

## はじめに 消費者意識の変化と不用品の有効活用

### 1. フリーマーケット

- (1) フリーマーケットとは？
- (2) 「環境型社会」と不用品の活用
- (3) 形態と仕組み
- (4) フリーマーケットを利用するとき
  - ① 出店したいが、自治体と任意団体等の特徴があるか
  - ② 何でも販売できるか
  - ③ 売手になった場合の心得や注意事項について知りたい
  - ④ よい買物をするためには、どのようなことに注意すればよいか
  - ⑤ 駐車場の用意はどうか
  - ⑥ 返品は可能か
  - ⑦ 開催が中止になったときの対応は？

### 2. リサイクルショップ

- (1) 増えてきたリサイクルショップ
- (2) リサイクルショップの仕組み
- (3) リサイクルショップを利用するとき
  - ① 買取りにするのと委託にするのとどちらがいいか
  - ② 委託販売の場合、委託期間中の手数料がとられるか
  - ③ 委託販売で売れた場合、何割を店に支払うのか
  - ④ 委託期間はどのくらいか
  - ⑤ 品物を預けるときの注意点は？
  - ⑥ 買うときの注意点は？

### 3. 自治体のリサイクルコーナー（ショップ）

### 4. 消費者へのアドバイス

## Ⅱ. アンケート結果から

### 1. 任意団体の開催するフリーマーケット

- (1) 設立時期
- (2) 自治体からの委託経験
- (3) 会員制
- (4) 始めた動機
- (5) 受付方法
- (6) 開催頻度
- (7) 開催・中止の通知
- (8) 出店料
- (9) 出店料の払い方
- (10) 出店数
- (11) ブースのスペース
- (12) 車出店
- (13) 業者（プロ）の参加
- (14) トラブルに対する対応
- (15) 他の活動内容など
- (16) 今後の課題（または、現在困っていること）

### 2. 自治体のフリーマーケット

- (1) 始めた時期
- (2) 担当部署
- (3) 開催頻度
- (4) 開催・中止の通知
- (5) 申し込み状況と受付方法
- (6) 出店資格
- (7) 出店料
- (8) 出店数
- (9) 車出店

- (10) 業者の参加
- (11) トラブルに対する対応
- (12) 今後の課題

### 3. 自治体のリサイクルコーナー

- (1) 展示している品物の種類
- (2) 品物の収集方法
- (3) 品物の引渡方法

## III. 参考資料（アンケート結果一覧）

表1 全国の主な都市のフリーマーケット、リサイクルコーナーの開催・設置状況  
(自治体主催)

表2 フリーマーケット実施団体の例

表3 フリーマーケット実施団体のクレーム対応

# **Ⅰ．フリーマーケット、リサイクルショップ、 リサイクルコーナー入門編**

---

## はじめに

---

### 消費者意識の変化と不用品の有効活用

今、消費者の間では、不用品等の有効な活用方法として、いわゆるフリーマーケットやリサイクルショップ、リサイクルコーナー等が人気を呼んでいる。

この背景には、以下のようなさまざまな要因が考えられる。

一つは、1990年代以降、環境問題が地球規模のテーマになったことにより、消費者の間で環境保全やリサイクルに対する関心が高まったことである。

今までは、自分にとって不用だからといって簡単に廃棄していた物でも、自分以外の誰かにとっては役に立つかもしれないという思いが、フリーマーケットやリサイクルショップを利用するという方向に向かっていると見られる。

他方、利用する側の意識を見てみると、消費社会の成熟がもたらした多様な価値観がある。従来のように、新品だけに価値を認めるのではなく、古い物にも価値を見いだす傾向が出てきている。その現れの一つに、豊かな時代に育った若い世代にフリーマーケットやリサイクルショップが人気を呼んでいることがある。古着を着たり、古い家具に囲まれて生活するということは、必ずしも貧しさを意味するのではなく、むしろ、楽しさや趣味に近いものとして捉えられている。

また、ブランド商品に敏感な層にとっては、一つの高級品を永く持つことより、次々と新ブランドを獲得していくことへの欲求があり、そういった意味では、使用したブランド商品を引き取ってくれたり、新しいブランド商品が安値で買えるリサイクルショップ等はデパートや通常の小売店と同様に魅力的なショッピングルートとなっているのである。

他に、景気の低迷感に伴う節約意識も、フリーマーケットやリサイクルショップの人気の要因となっている。贈答品のタオルやシーツ、食器等の生活必需品や、まだ十分に使用できる衣服が安値で購入できることにも消費者の関心が集まっているといえる。

---

## 1. フリーマーケット

---

### (1) フリーマーケットとは？

公園や、駐車場、デパートの屋上、イベント会場、その他商店街などで、家庭の不用品を持ち寄って販売する光景がよく見られるようになった。このような不用品の販売を最近では、「不用品活用市」とか「フリーマーケット」とよぶことが多い。

フリーマーケット（flea market）には一般的に“蚤の市”という意味があるが、“蚤の市”というと、フランスの le marche aux puces（蚤の市）がすぐさま頭に浮かぶ。le marche aux puces の始まりは、パリ周辺に張りめぐらされた城壁によりパリ市内を追い出された貧困者や屑屋等が、城門（ポルト）の近くに市を開いたことにあるらしい。城壁が取り残された後も、市場はそのまま残り、次第に古物市として賑わいをみせ、今では、パリ名物の一つにもなっている。

日本の消費者の間で定着しつつあるフリーマーケットは、家庭の不用品の処分を目的としたものであり、その点では、アメリカのガレージセールに近いものがある。

物を大事にして、リサイクルに役立つという効用のほかに、自分にとって不用品なものでも、他人にとっては必要な場合もあるという発見、捨ててしまえば単なるゴミになってしまうものが、対価となって返ってくる楽しみがある。

## **（２）「循環型社会」と不要品の活用**

1980 年代に入ると、それまでの高度経済成長の結果の大量生産、大量消費のツケが生活のさまざまな場面で見られるようになった。こと、環境問題に関しては、ゴミの排出量の急増が問題になると同時に、資源の有効な活用を図る必要性が出てきた。

このような状況を受けて、1991 年にゴミの減量化と資源の再利用を目的とした「再資源の利用の促進に関する法律」が施行され、紙製造業、ガラス容器製造業、建設業がリサイクル率を高める特定業種に指定された。

また、自動車、エアコン、テレビ、洗濯機、冷蔵庫等は、製造段階からリサイクルを考慮した材料等の使用を求める第 1 種指定商品に、アルミ製品とスチール製の飲料容器は、分別回収のための表示を義務づける第 2 種指定商品に指定された。

さらに、1997 年には、ゴミ減量のために市町村に容器類の分別収集、メーカーには再商品化を義務づけた「容器包装リサイクル法」が施行された。

このような「循環型社会」を目指す試みは、今後も続けられていくに違いない。一方、消費者の間でも、環境に対する負荷の少ない商品の購入をするなどの普段の行動を通して環境保全を考える等の動きが出てきた。

このような状況の中、今までは簡単に廃棄していた不用品の有効な活用方法の場としてフリーマーケットやリサイクルショップ等が次第に消費者の人気を集めていったともいえる。

## **（３）形態と仕組み**

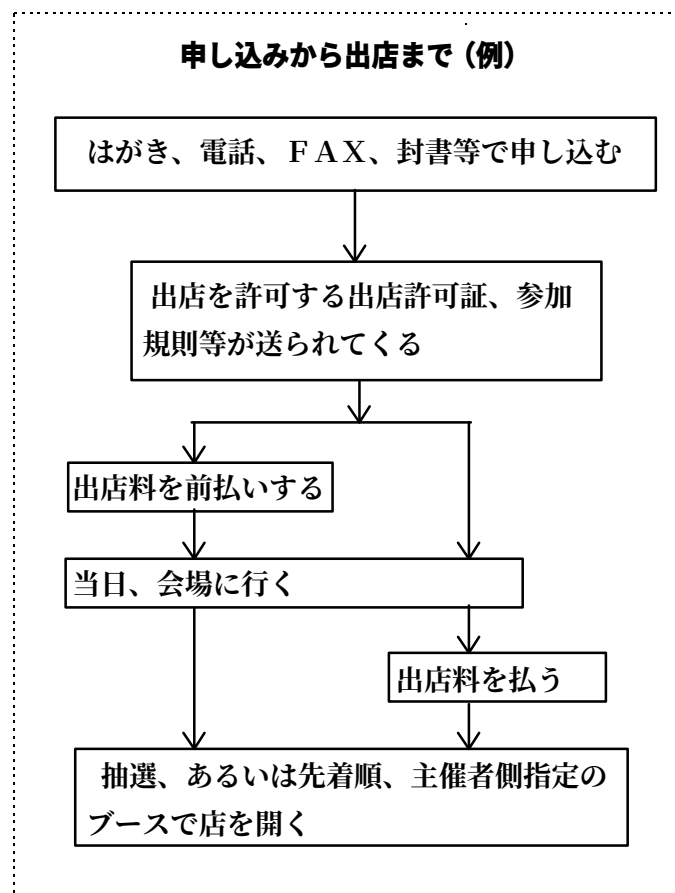
当初は、首都圏や関西の大都市で多かったフリーマーケットだが、最近では、全国各地でみられるようになっている。形態としては、①地域のグループ等で自宅の庭や車庫、または

自治体に申し出て公共の場所を借りて行うもの ②任意団体が開催するもの ③企業がイベント的に開催するもの ④福祉団体等が福祉活動の資金集めの一環として開催するもの ⑤地域の自治体が開催するもの等さまざまである。

自治体が開催する場合は、自治体自体が主催となる場合と任意団体等に委託する場合等がある。また、場所の提供、用具の貸出等で便宜を図り、任意団体の活動を支援するという形をとることもある。

出店料は、任意団体の場合は、有料がほとんどであるが、自治体の場合は、有料の場合と無料の場合とがある。

現在、フリーマーケットを開催している任意団体は数百に及ぶといわれているが、正式な数は把握できていない。だれでも手軽に始めることができるのがフリーマーケットの魅力の一つだが、買った不用品を販売したり、または他人から委託を受けて販売したりということになると、古物営業とみなされるので注意が必要である。また、公的な場所を使用する場合は、管轄の自治体に申し出る必要がある。



#### (4) フリーマーケットを利用するとき

##### ① 出店したいが、自治体と任意団体等の特徴があるか

|                  | 任意団体・会社等                                                                                                                                                                               | 自治体                                                                                            |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>開催方法</b>      | 独自開催の場合、自治体の委託を受けて開催する場合、共催の場合等がある                                                                                                                                                     | 独自開催の場合、任意団体等へ委託する場合、共催の場合等がある                                                                 |
| <b>開催通知の方法は？</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の掲示版（主に地域グループの場合）</li> <li>・コンビニストア、スーパー等にチラシを置く</li> <li>・会員制の場合は、会報等</li> <li>・情報雑誌</li> <li>・専用のインフォメーション電話</li> <li>・インターネット</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙が中心</li> </ul>                                      |
| <b>開催頻度</b>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれ異なる。多いところでは毎週開催の場合もある</li> </ul>                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1～2回程度が多い。</li> <li>・ただし、中には4～5回開催の自治体もある</li> </ul> |
| <b>車出店（注1）</b>   | 行われている                                                                                                                                                                                 | ほとんど行われていない                                                                                    |
| <b>参加資格</b>      | 誰でも参加できる場合がほとんど。ただし、会員制の場合は、会員にかぎっていることがある                                                                                                                                             | 地域住民、または地域在職者・在学者に限っている                                                                        |
| <b>会場</b>        | 公園、公共施設、デパート、スーパー、ビル、ショッピング街イベント会場等                                                                                                                                                    | 公園、公共施設がほとんど                                                                                   |
| <b>業者（プロ）の参加</b> | 認めている場合と認めていない場合とがある                                                                                                                                                                   | 認めていない                                                                                         |
| <b>申し込み方法</b>    | 事前に予約が必要。電話、FAX、はがき等で申し込む。希望者が多いときは抽選。出店許可証が送られてくる                                                                                                                                     | 事前に予約が必要。電話、はがき、封書等で申し込む。希望者が多いときは抽選。出店許可証が送られてくる                                              |
| <b>出店料</b>       | 手持ち出店（注2）は、500円～3000円位の範囲が多い。車出店の場合は若干高めになる                                                                                                                                            | 無料の場合と有料の場合がある<br>300円～2000円位の範囲                                                               |
| <b>出店料の支払方法</b>  | 当日現金払い、または、事前に郵便局か銀行に振り込む                                                                                                                                                              | 当日現金払いがほとんど                                                                                    |

（注1）車のまま会場に入り、車内等を利用して店を開くこと

（注2）自分で荷物を持ち運び、店を開くこと

##### ② 何でも販売できるか

不用品だからと言って何でも販売できるとは限らない。大抵の場合、開催団体による規則があるので、そのルールを守ることが大切である。

一般的に言って、①食品や薬のように衛生上の問題や品質保持の期限があるもの ②動植物 ③高価なもの、公序良俗に反するもの等は禁止している所が多い。また、コピー商品のように法的規制のあるものも当然のことながら禁止されている。

### ③売手になった場合の心得や注意事項について知りたい

売手になった場合の注意事項の要点をまとめてみると以下のようになる。

- (イ)衣服等の汚れは取り除き、清潔にしておく。ボタン等もきちんとつけておく。
- (ロ)値札は予め付けておく。儲け優先より、買手がつきやすい値付けを。
- (ハ)搬入、搬出の時間を守ること。
- (ニ)衣服等の場合は、ハンガーやハンガー台があると綺麗に整理できる。
- (ホ)食事やトイレで店に誰もいなくなると困るので、2～3人で参加した方がよい。
- (ヘ)腰掛けるための折り畳みイス、汚れ拭きのための雑巾、ガムテープ、セロテープ、はさみ、電卓、小銭、売った品物を入れる袋などの小物があると便利である。
- (ト)買う人の不安や疑問には、きちんと対応する。品質保証書や、取扱説明書等が残っている場合は、付けて販売する。
- (チ)他の店から買った品物等を再び販売してはいけない。
- (リ)売れ残りの品物や、ゴミは必ず持ち帰ること（予め袋を用意する）。もし、売れ残りを持ち帰りたくない場合は、閉店前に無料コーナー等を開いて対応するのも、一つの方法である。
- (ヌ)違法駐車をしたり、公園等の会場で騒音を立てたりといった周辺の住民に迷惑となるような行為をとらない。

### ④よい買物をするためにはどのようなことに注意すればよいか

単に必要なものを安く入手するだけではなく、売手との間で会話を楽しんだりといったコミュニケーションも、フリーマーケットでの買物のよさの一つといえる。以下に、よい買物をするための注意点をまとめる。

- (イ)一般的に言って、都市近郊で開催される場合は、広い会場が確保できないため、衣服や雑貨類が中心になりがち。家具等を買いたい場合は、郊外型の車出店のフリーマーケットにあたるとよい。
- (ロ)品揃えが豊富なのは午前中なので、早めに行った方がいいものが見つかる。また、閉店間際は、値下げして売られる場合が多い。
- (ハ)使用期間は短い、成長過程に合わせて頻繁に買う必要のある子供用品は、大抵のフリーマーケットで人気の的である。必需品だけに、安価で入手できるのはありがたい。

ただし、乳母車、ベビーベッド、チャイルドシート、玩具などの安全性はきちんとチェックすること。古いものだと、現在の安全基準を満たしていない場合もある。また、幼児は、玩具を口に入れることもあるので、後で塗料を塗り直したもの等は安全性が確認できないので、避けた方が無難である。

(ニ) 値札のまま買う前に交渉してみる余地もある。

(ホ) その場で使い勝手や品質面のチェックができる品物はチェックする。特に電気製品は運搬中の扱いがトラブルの一因となることもあるので、買う前に通電チェックをしてみる。

(ヘ) 禁じられてはいるが、贋のブランド商品（コピー商品）が混じっていることもあるので気をつける。

(ト) その場でサイズや使い勝手が確認できないものや高価なものを買うときは、トラブルが生じた場合のために相手の連絡先を聞いておくとい。

#### ⑤ 駐車場の用意はどうか

- ・ 残念ながら、駐車場が完備されているような広い会場は極めて少ない。違法駐車をしないためには、早めに会場の近くまで行き駐車場を確保することが大切。

#### ⑥ 返品は可能か

- ・ 買った物が故障してしまったり使用できない場合、開催団体によっては、販売者が判明した場合は、その連絡先を教えるといった協力をしてくれる。しかし、それ以降の交渉は、基本的に販売者と購入者に任せているようである。
- フリーマーケットでの買物は、飽くまで、個人間の取引行為であることを念頭におこう。

#### ⑦ 開催が中止になったときの対応は？

- ・ 雨などで開催が中止になったときは、開催が翌週等に延期されることが多い。出店料が戻ってくるか否かに関しては、開催団体によって異なるので事前に確認する。

## ☆フリーマーケット出店規約抜粋☆

(リサイクル運動市民の会の場合)

★当日は、「当出店許可証」と「会員証、又は身分証明書」を必ずお持ちください。

又、申し込み者本人が不在の出店は禁止されております。

### 出店参加者の基本ルール

- ①原則的に家庭の不要品の域を越えている物は、販売出来ません。(仕入れ・預かり・手り・倒産処分・コレクター品等は、域を越えている物となります)
- ②飲食物全般、医薬品、化粧品、嗜好品(酒、煙草等)、生き物、ポルノ商品は、販売禁止。又、特に法律に違反する物品(コピー商品等含む)は、絶対に禁止です。
- ③販売する物品は、返品可能であることが条件となります。又、¥ 2,000～の物を売ったときは、領収証か自分の連絡先のメモを渡す事が義務となります。
- ④自転車の販売、テント・発電機の使用は、事前の許可が必要です。
- ⑤会期中の場内で買った物を売る“又売り行為”は絶対に禁止です。
- ⑥車ごと出店の参加者は、行事終了時間まで車両の移動退出は出来ません。
- ⑦“違法駐車”は会場自体の存続に関わります。絶対しないでください。
- ⑧出店場所と周囲の清掃、ゴミの持ち帰りは、参加者各自の責任となります。
- ⑨会場でのルール違反があったり、係員の指示に従わない場合には即刻退場、若しくは会員資格の停止、又は以後一切の参加をお断りします。  
(※違反の方には、後日ハガキによってお知らせすることがあります)

### キャンセル、順延等のルール

- ①出店のキャンセルは開催日の一週間前迄の連絡に限り、参加費の払戻が出来ます。(それを過ぎると返金・振替等は出来ません)
- ②屋外の会場は、天候不良の場合原則として中止となります。開催か中止かは当日朝7時以降に電話で確認願います。
- ③中止が決定された会場は、その後天気の回復があっても開催はしません。確認を怠り中止会場に無断出店した方は、以後一切の参加を認めません。
- ④中止会場の順延開催については、翌日以降、各自電話にてご確認下さい。事務局からの連絡はありません。(但し、事前に「雨天決行」と案内された行事には順延日はありません)
- ⑤順延開催は1回限りです。(順延開催日が中止となっても以降の振替/返金等は出来ません)
- ⑥順延日キャンセルは開催日の1週間前迄の連絡に限り“半額”の返金出来ます(参加費は、大部分が開催日に償却されている為ご了承ください)。
- ⑦開催日の遅刻はキャンセル扱いとなり、出店できない事もあります。

### 行事出店者傷害保険のご案内

当申込者欄に記名の方は、行事の開催中と往復路の傷害保険に加入。

死亡、後遺傷害／2千万円。入院日額／1万2千円(最長180日間)。

通院日額／6千円(最長90日間)。手術は入院日額の10倍、20倍、40倍かの補償となります。

---

## ２．リサイクルショップ

---

### （１）増えてきたリサイクルショップ

リサイクルショップの看板を掲げた店を多く見かけるようになった。現在、全国のリサイクルショップ数は約３万店といわれるが、正確な数は把握できていない。最近では専門誌に広告を掲載し、通信販売をおこなったり、デパートでもリサイクルショップのコーナーが設けられたりしている。

同じ不用品でも、フリーマーケットに出すには惜しいといったような品がリサイクルショップに持ち込まれることが多く、そういった意味では、若干高級であり、また愛着のある品ということになるようである。

ひとくちにリサイクルショップと言っても、家具や家電が中心のショップと衣類やバッグ、靴などのファッション系が中心のもの、カメラ等の趣味品、レストラン開業のための厨房品だけに特化した専門店まで多岐にわたっている。

小資本でも開業できるためか、一般の消費者の間でもリサイクルショップの経営に参入する例が増えてきているが、リサイクルショップの経営をするためには、古物商の免許が必要になってくるので注意が必要である。

#### （古物営業法とは？）

古物営業法の目的は、盗品等の流通防止にある。古物営業法による古物営業とは、（１）古物を売買し、若しくは交換し、又は委託を受けて売買し、若しくは交換する営業であって、古物を売却すること又は自己が売却した物品を当該売却の相手方から買い受けることのみを行うもの以外のもの（２）古物市場（古物商間の古物の売買又は交換のための市場をいう）を経営する営業をいう。また、古物とは、①一度使用された物品 ②使用されない物品で使用のために取引されたもの ③これらいずれかの物品に「幾分の手入れ」をしたものをいう。物品には「商品券、乗車券、郵便切手その他政令で定めるこれらに類する証票その他の物」が含まれ、「大型機械類（船舶、航空機、工作機械、その他これらに類するものをいう）で政令で定めるもの」が除かれる。

参考資料「新古物営業法実務の手引き」東京法令出版

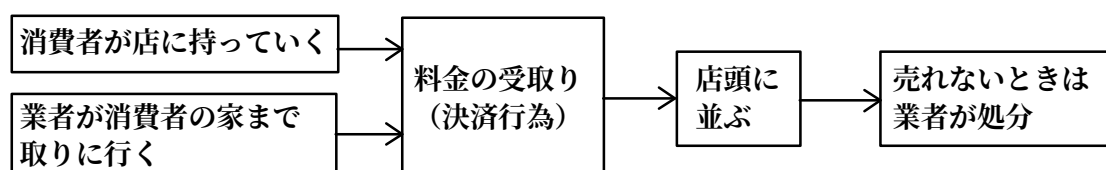
## (2) リサイクルショップの仕組み

リサイクルショップでは、一般の消費者や、企業などから持ち込まれた中古品を買取って販売する、または販売を委託されて店頭に並べるといった方式をとっているが、新品を扱っている店とは違い、幾つかの課題がある。その一つは持ち込まれる商品の使用頻度や傷の付き具合などがそれぞれ違うため、販売価格の設定が難しいことである。現在、価格の設定は、消費者と店側の直接交渉になるケースがほとんどであるが、委託販売にしろ買取制にしろ、店によって価格設定が異なってくる現状は否めない。消費者としては、預ける前に何件か回ってみる必要がある。

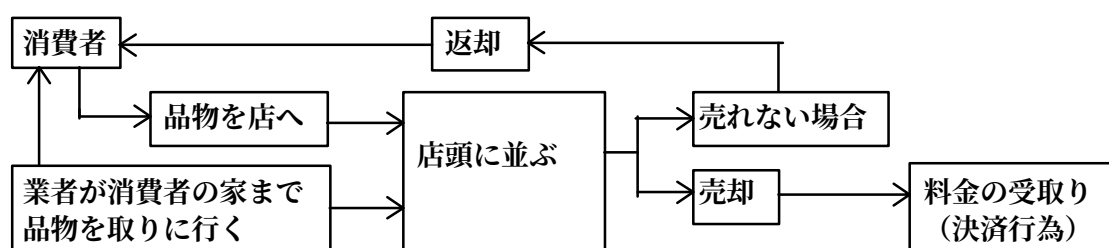
もう一つは、経営面の難しさである。店舗数の伸びや利用者の増加と並行するかのように消費生活センター等にも「店が閉鎖され連絡がとれない」とか「預けた洋服が紛失した」等の苦情が寄せられている。

リサイクルショップの仕入れ方法としては、一般消費者からの買い取りや委託、市場からの仕入れ、閉店した店や企業からの引取り等があるが、仕入れに苦勞し、経営上行き詰まることも多く、消費者が安心して利用するためには、仕入れや取引が活発になることにより、経営基盤が安定することが必要になってくる。

### 買取りの場合（例）



### 委託販売の場合（例）



## (3) リサイクルショップを利用するとき

次にリサイクルショップを利用するときの要点をまとめてみる。

### ①買取りにするのと委託にするのとどちらがいいか

買取りにすると、店側がリスクを負うこともあり、安値になることが多い。ただし委託の場合でも販売価格の設定は、店の側で決めることが多い。納得できない販売価格のまま預けて後でトラブルになるよりは、自分の納得のいく販売価格を設定してくれる店を探す方

がよい。ただし、処分を第一に考えると、買い取ってもらう方が早いといえるし、委託の場合でも買手がつきやすいようにあまり高値には設定しないことである。

## ②委託販売の場合、委託料を払うのか

委託料を取るところと、委託料は無料というところがある。店によっては入会登録料をとるところもある。

## ③委託販売で売れた場合、何割を店に支払うのか

売れたからといって全てが収入になる訳ではない。販売価格の何割かを店側に支払い、残りが収入となる。割合は店によって違うので、予め情報収集が必要である。

## ④委託期間はどの位か

委託期間は、衣服類だと2週間～1月が多い。委託期間を過ぎた場合は返品される。委託期間を過ぎても預けたいときは、販売価格を更に低く設定されることがある。

## ⑤品物を預けるときはの注意点は？

- (イ)品物を預ける場合は、品物のルーツを明確にするために、身分を証明するものが必要である。
- (ロ)店頭に並べるだけに、あまり使い古したものは対象とならない。衣服などは1年～2年以内の比較的新しいものが価格を設定しやすい。また、店によっては委託点数を限定したり、販売価格を〇千円、または〇万円以上に設定できる物を預かるとしているところもある。
- (ハ)預けるときは、信用のおける店選びが大切である。古物商の免許を持っていることは当然として、委託時に紛失等のトラブルが起きた場合の対処法等が書面でわかるようになっているところがよい。また、消費者の側も委託期間が過ぎたらそのままにせず、早めに引き取ることが大切。

## ⑥買うときの注意点は？

- ・預けるときと同様、信用のおける店選びが大切である。リサイクルショップは基本的に返品には応じてくれないので、買うときには価格と品質の両面からの十分なチェックが必要である。家具などを購入するときは宅配サービスを実施しているところが便利である。

### ３．自治体のリサイクル コーナー

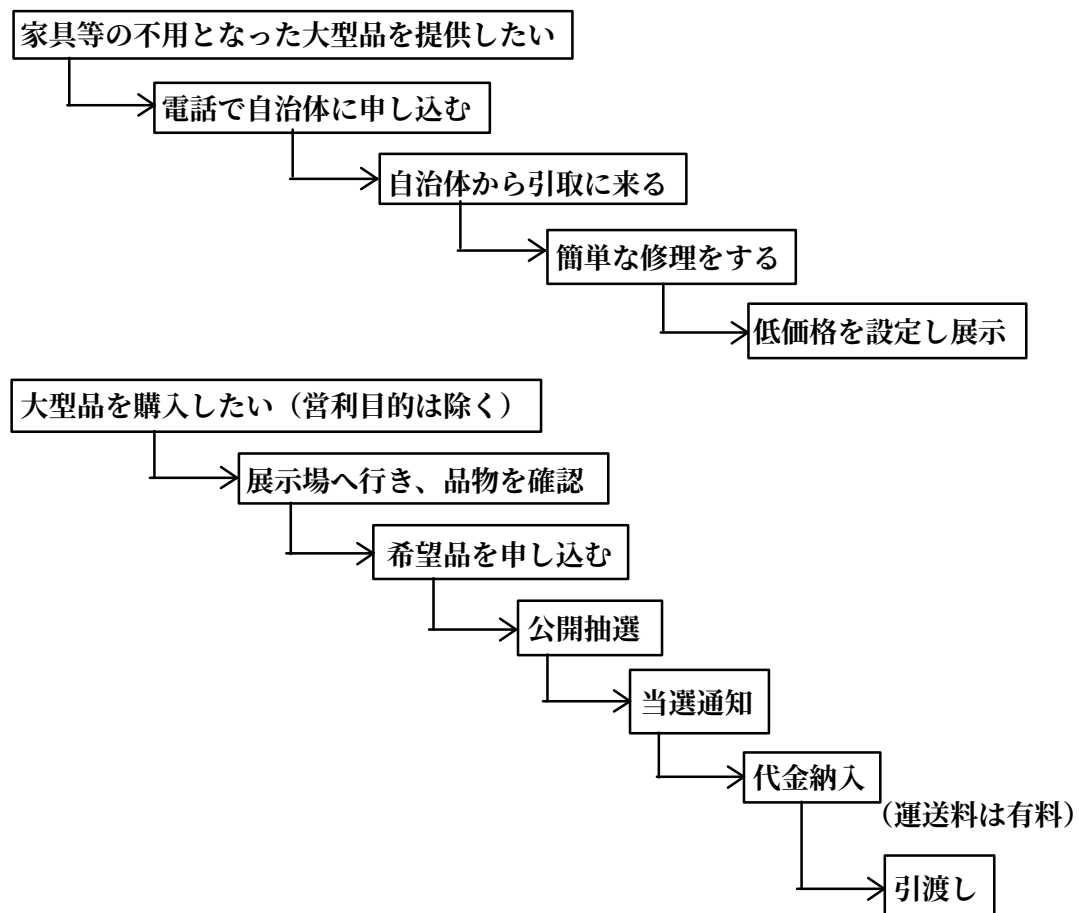
地域のリサイクルの拠点として、リサイクルプラザや、エコプラザのような施設を持っている自治体では、大抵の場合、その一角にリサイクルコーナー（ショップ）を設けている。

自転車、家具、家電製品等のように大型製品の場合は、①消費者から直接、品物が持ち込まれる場合と②粗大ゴミ等の回収を通じて収集する場合とがある。修理が必要なものは受け付けない自治体と、ある程度の修理は、職員が行ったり、シルバー人材センター等に依頼している自治体とがある。

衣服や日用品等は委託販売形式をとって展示していることが多い。

また、常時開設ではなくても、特定の期間を決めて開設したり、不用品登録システムを設けて、譲ってほしい人、譲りたい人への情報提供を行っている自治体もある。

#### 品物の提供方法・購入方法の例（大型品の場合）



## 不用品登録システムについて

### 登録カードの例（神奈川県川崎市の場合）

|                             |    |        |  |
|-----------------------------|----|--------|--|
| (譲りますカード)                   |    |        |  |
| 品物                          |    | (色)    |  |
| (メーカー)                      |    | (型式)   |  |
| (サイズ) W                     | D  | H      |  |
| cm                          | cm | cm     |  |
| (程度)<br>新品 ・ 新品同様 ・ 普通 ・ 劣る |    |        |  |
| (説明書)<br>有 無                |    |        |  |
| 購入時価格                       |    | 提供希望価格 |  |
| 円                           |    | 円      |  |

|        |        |      |
|--------|--------|------|
| (連絡方法) | (交換方法) | (名前) |
| 電 話    | 取      | (電話) |
| ・      | ・      |      |
| ハガキ    | 送      | (住所) |

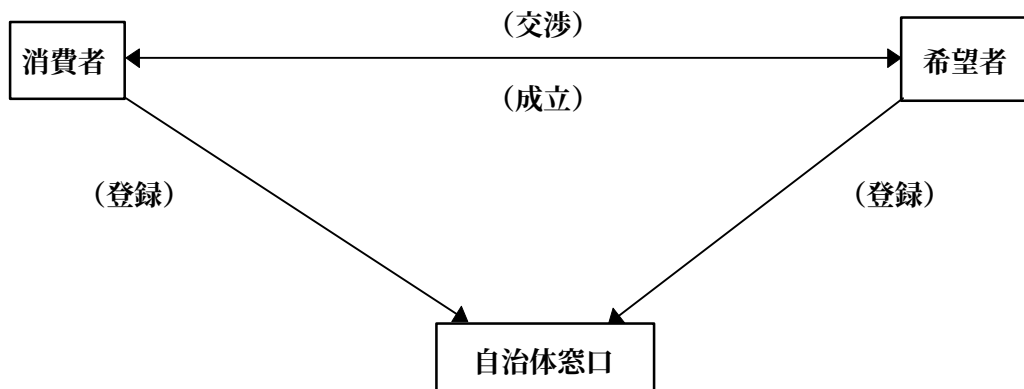
・ 品物は1人2点以内です。登録は1ヵ月です。・ 登録できない品物があります。・ 市外の方の登録は出来ません。

|                |  |  |
|----------------|--|--|
| (譲ってくださいカード)   |  |  |
| 品物             |  |  |
| (メーカー・型式・サイズ等) |  |  |
| 希望価格円          |  |  |

|        |        |      |
|--------|--------|------|
| (連絡方法) | (交換方法) | (名前) |
| 電 話    | 取      | (電話) |
| ・      | ・      |      |
| ハガキ    | 送      | (住所) |

・ 品物は1人2点以内です。登録は1ヵ月です。・ 登録できない品物があります。・ 市外の方の登録は出来ません。



---

## 4. 消費者へのアドバイス

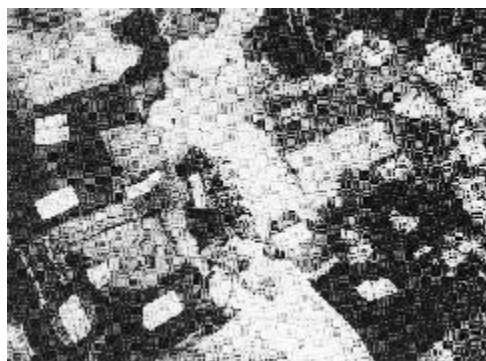
---

フリーマーケット、リサイクルショップ、リサイクルコーナーを利用するとき（購入の場合）に心得ておくことは、使用したことのある品であったり、また、家庭の中で未使用のまま眠っていた品物だということである。従って、新品や新製品と同じような期待を抱くのではなく、必要な物を安価で入手できることがメリットであるという認識を持つことである。

家電製品等は人気も高いが、トラブルも多いので、購入する場合は、自治体のリサイクルコーナーや通電チェックのできるフリーマーケット、または、トラブルが生じた場合、返品に応じてくれるフリーマーケットやリサイクルショップが安心ではある。

なお、個人間の取引である以上、責任は、当事者が負うことになる。

家庭の不用品の活用が定着していくことは、循環型社会を形成する点で歓迎すべきことであるが、フリーマーケットでは、売れ残りの品物を持ち帰らない消費者もいるようである。大規模な開催会場では、売れ残った衣類等の回収ブースを設けて回収したものを業者やボランティア団体に回して素材の再生、または古着の需要のある外国への輸出、寄贈等といったリサイクル・ルートを確立している例もあり、このような試みが増えることが望ましい。



## **Ⅱ．アンケート結果から**

**（調査時期は1997年7月～8月）**

---

## 1. 任意団体、会社等の開催するフリーマーケット

---

現在、フリーマーケットを開催している民間の任意団体は数百に及ぶといわれるが、はっきりした数は把握できていない。今回、アンケートを送付したのは15団体であるがそのうち、13団体（社団法人1、会社組織2を含む）から回答があった。それぞれの団体によって特徴がある（Ⅲ. 参考資料参照）が、以下、概要を紹介する。

### （1）設立時期

1970年代が3団体、1980年代が4団体、1990年代が6団体である。

### （2）自治体からの委託経験

11団体が自治体からの委託の経験があった。

### （3）会員制

・会員制をとっているところが約半数あった。会員制といっても、年会費を徴収するところと、申込み者の名前を登録するところがある。年会費は3000円～4000円である。会員に対する特典としては、「会報等の発行」「出店料を安くする」等があった。

・入会資格としては、日本人であること、定めた住所があること、16歳以上というのが挙げられていた。特に入会資格を定めていないところもある。出店者を会員に限っているところもある。1団体のみ会員以外の試し参加を1回に限り認めていた。

### （4）始めた動機

「家庭の中にある不用品を有効に活用できると思ったから」、「ゴミの減量など環境保全に役立つと思ったから」が多かったが、「今後、事業として発展すると思ったから」「先進諸国と同様のリサイクル・システムを作るため」という回答もあった。収益金の一部を福祉目的に使用している団体では、始めた動機を「障害者の自立と社会参加のため」としている。

### （5）受付方法

全て「予約のみ採用」が基本であった。予約の方法としては、事前に電話やFAXで申し込みたいということになっている。

### （6）開催頻度

開催の頻度は比較的高く、多いのでは年に500回というのがあった。1週に2～3回、または、月に4～5回と活発な開催状況が目立った。

### （7）開催・中止の通知

開催は、専用のインフォメーション電話や、地域の広報紙、会員に発送する会報、情報誌等で幅広く通知している。中止に関しては、専用のインフォメーション電話での対応が多い。

### （8）出店料

手持ち出店（会場内へ手持ちで品物を運ぶ）の場合は、500～3000 円位の範囲である。車出店（車で会場内まで行き、そのまま車内等を利用して店を広げる）の場合は広い会場を利用するためか、出店料は高くなる傾向にある。500 円のところも 1 団体あったが、3000 円～6000 円の範囲であった。

業者の参加を認めているところでは、業者の出店料を高く設定しているところもあった。

#### **（9）出店料の払い方**

当日、支払うところと、事前に銀行や郵便局等の金融機関に振り込むところがあった。

#### **（10）出店数**

小規模のものでは 30、大規模のものでは 1200 と多岐に渡っているが、100 店前後が多い。

#### **（11）ブースのスペース**

4 m<sup>2</sup>～12 m<sup>2</sup>が多い。車ごとの出店の場合は、15 m<sup>2</sup>、18 m<sup>2</sup>が多い。

#### **（12）車出店**

車出店は、消費者にとっては会場までの荷物の持ち運びの手間がなく、非常に楽だといえるが、開催する側に見れば、広い会場探しが必要となる。9 団体が車出店を開催していた。

#### **（13）業者（プロ）の参加**

13 団体のうち営利を目的とする業者の出店を認めているのは 8 団体であった。うち、2 団体は認めている場合と認めていない場合とがあると回答している。

#### **（14）トラブルに対する対応**

購入者から品物に対するクレームがきたときや、返品したいという申出があった場合は、販売者が特定できるケースにおいては、連絡先を教えるなどして互いに交渉してもらうというのが基本のようである。なかには、返品の要望があった場合は、必ず応じるようにさせているということもあった。

#### **（15）他の活動内容など**

フリーマーケット以外の活動内容としては、環境関連のものと、イベント的なものに分かれた。環境関連としては、「食を中心とした勉強会をしている」「有機農産物の宅配」リサイクルの推進に取り組んでいる」「資源リサイクル商品の開発」等がある。

イベント的なものでは、「海外旅行の企画」「チャリティボーリング」「ゴルフコンペ」等がある。

#### **（16）今後の課題（または、現在、困っていること等）**

以下に主なものを列記する。

- ・ 沢山の人が集まるのを悪用した盗難等の事故もあり、残念である。
- ・ 無料の駐車場が多い場所での開催を増やすこと。

- ・車出店を増やしたい。
- ・運営団体の組織、管理、法的責任を含めて開催団体の一定の基準を設けることが必要
- ・現場管理責任者の資質が問われてくる。売手と買手に迷惑がかからない最善の売場環境を維持していくことが責任者に求められていると思う。
- ・市民団体の行なう不用品交換のためのフリーマーケットという立場を今後、明確にする必要がある。
- ・交通事情が良く大規模な開催ができる会場候補地が少ない。
- ・会場の確実な確保が難しい。広い会場がない。
- ・私有地は賃料が高い。
- ・公共の場をなかなか借りられないため、開催場所が限定される。東京のように大型公園で開催したい。
- ・出店参加者が予約の電話をいれておきながら、参加しないことがあり、対応に困っている。
- ・早朝から来場者が来て、出店の用意がスムーズにできない。

---

## ２．自治体のフリーマーケット

---

今回アンケートをとった71の自治体（道府県庁所在地、政令指定都市の計48の市役所、東京23区の区役所）のうち、8割近くの自治体がフリーマーケットを開催していた（任意団体等に委託している場合も含む）。

### （１）始めた時期

環境問題がクローズアップされてきた1990年代がほとんどで、ゴミ減量や環境保全の必要性、または、住民のニーズに応える形で始めている。

### （２）担当部署

環境清掃課、リサイクル事業課（リサイクル推進課）、ゴミ減量課といった環境関連の部署が多いが、同じ組織でも、環境関連課と商工課がそれぞれの目的に応じて開催する場合もあった。

### （３）申込み状況と予約方法

ほとんどの自治体で、常に定員をオーバーする申込み状況であると回答している。

受付方法は、事前にはがきや、電話、専用の申込み用紙で申し込むことが基本となっている。

### （４）開催頻度

一年に1～2回が多い。

## **(5) 開催・中止の通知**

市や区の広報紙で事前に通知を行なっている。会場が屋内のところが多く、雨でも実施する場合はほとんどであり、中止の通知は必要ないところが多い。ただし、屋外で行なう場合は、電話で問合せに応じている。

## **(6) 出店資格**

ほとんどが地域住民、地域在職者、地域在学者等に限っている。

## **(7) 出店料**

有料の自治体と無料の自治体がある。料金は、300 円～2000 円位の範囲。500 円～1000 円が多い。

## **(8) 出店数**

出店数は、会場の大きさに左右される。多いのは100店前後である。

## **(9) 車出店**

ほとんどの自治体では車出店を行っていない。

## **(10) 業者の参加**

認めていない。

## **(11) トラブルに対する対応**

購入者と販売者で直接交渉してもらうことを基本としている。

## **(12) 今後の課題**

以下、主なものを列記する。

- ・営利目的の事業者のチェックが難しい。
- ・予算のほとんどを開催場所の施設使用料に当てている。出店料を徴収する場合の手続きが困難である。
- ・ブースが狭い。
- ・例年、参加希望者が多く、スペースが足りない。
- ・会場が狭いため、出店数を増やすことができない。
- ・駐車場がない（または）足りない。
- ・（駐車場が足りないため）開催場所付近の交通が渋滞する。
- ・注意しても、仕入れた物を売る人がいる。
- ・開催場所の確保が難しい。
- ・開催日数を増やしてほしいとの要望になかなか応えられない。
- ・午前中で人気商品が売れてしまい、午後には、会場の活気がなくなる。
- ・住民団体による自主的な開催を支援するという形をとりたい。現在は、全てをやっている  
ので、業務的に大変である。
- ・ゴミ減量を訴えるイベントであるのに、参加者がゴミを放置するなどマナーが悪い。

### ３．自治体のリサイクルコーナー

７１の自治体のうち、リサイクル・コーナーを半数以上が持っていた。常時展示するコーナーを設けていないところでは、不用品を登録し、希望者に譲るという不用品交換システムをとっているところがあった。

展示方法としては、常時開設している場合と、催しものがあるときに開設する場合とに分かれる。

#### （１）展示している品物

家具、自転車、家電製品、衣類、子供用品が多い。

#### （２）品物の収集方法

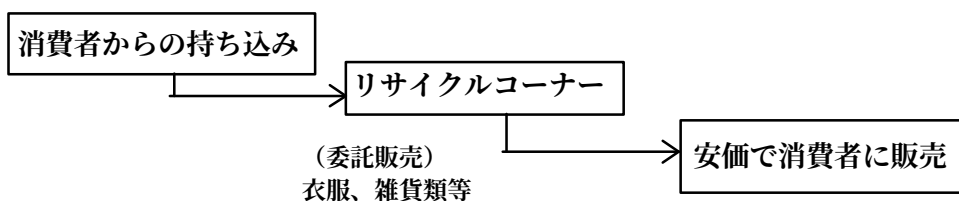
住民からの直接持込みの場合と、粗大ゴミの回収ルートを通じての二つに大別できる。住民からの直接持込みは、大型製品と衣服・雑貨等があるが、衣服・雑貨等は委託販売の形式をとっている場合がほとんど。委託料をとるところもある。

粗大ゴミ等の回収ルートを通じて収集されたものは、修理が必要なものは、職員やシルバー人材センターで対応している。

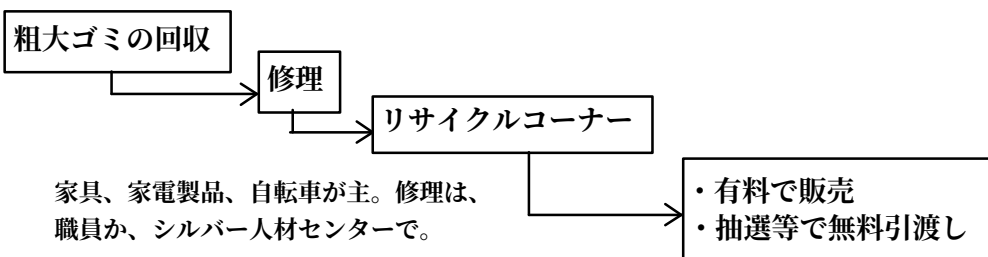
#### （３）品物の引渡方法

「有料（廉価）で販売する」「抽選で、無料または廉価で販売する」等が多かった。

##### 例１ （消費者が持ち込んだ物を預かり販売する場合）



##### 例２ （粗大ゴミの回収等を通じて）



### Ⅲ．参考資料（アンケート結果一覧）

（以下のデータはすべて 1997 年 7 月～8 月の調査時点のもの）

表 1 全国の主な都市のフリーマーケット、リサイクルコーナーの開催・設置状況  
（自治体主催）

表 2 フリーマーケット実施団体の例

表 3 フリーマーケット実施団体のクレーム対応

表1 全国の主な都市のフリーマーケット、リサイクルコーナーの開催・設置状況（自治体主催）

|           |      | フリーマーケット                   | リサイクルコーナー       | 問い合わせ先（主にフリーマーケット）                                                                |
|-----------|------|----------------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 北海道・東北・関東 | 札幌市  | ○（年2回 6月、9月の最終日曜日）         | ○（催し物があるときに開設）  | 環境局清掃部豊平清掃事務所 011（211）2928                                                        |
|           | 仙台市  | ○（年1回 10月）                 | ○（常時開設）         | 環境局リサイクル推進課 022（214）8230                                                          |
|           | 山形市  | ○（年1回 5～6月）                | 開設していない         | 環境部清掃管理課 0236（41）1212                                                             |
|           | 水戸市  | ○（民間団体に委託）                 |                 |                                                                                   |
|           | 宇都宮市 | ○（年1回 5月）                  | 開設していない         | 市民保健部市民生活課 028（632）2287                                                           |
|           | 前橋市  | ○（年1回）                     | ○（催し物があるときに開設）  | 生活環境部環境対策課 027（224）1111                                                           |
|           | 浦和市  | ○（年1回）                     | 不用品交換のシステムあり    | 環境部廃棄物対策課リサイクル係 048（829）1347                                                      |
|           | 千葉市  | ○（全市開催年2回、区年6回）            | ○（常時開設）         | 環境局環境管理部リサイクル推進課 043（245）5530                                                     |
|           | 川崎市  | ○（年3回）                     | ○（常時開設）         | 環境局生活環境部減量資源課 044（200）2580                                                        |
|           | 横浜市  | ○（'97年度実施全市年1回、各区でも開催）     | ○（常時開設）         | 環境事業局事業推進部減量推進課 045（671）3816                                                      |
| 東京23区     | 千代田区 | ○（'98年度は年3回 夏・秋・冬）         | 開設していない         | 環境保全課 03（3264）0151                                                                |
|           | 中央区  | ○（年2回 春・秋 ほかに小規模なものもあり）    | ○（常時開設）         | 環境衛生部環境保全課 03（3543）0211                                                           |
|           | 港区   | ○（月1回 第2土曜日）               | ○（年3～4回開催）      | 清掃移管対策課リサイクル推進係 03（3578）2111（内2339）                                               |
|           | 新宿区  | ○（年1回 6月第1日曜日ほかに地域団体開催を支援） | ○（常時開設）         | 環境部リサイクル推進課 03（3209）1111（内4361～6）                                                 |
|           | 文京区  | ○（年2回 5月・10月）              | 再利用情報ダイヤル（委託）   | 文京区消費生活センター 03（5803）1105                                                          |
|           | 台東区  | ○（民間団体に委託・後援 区年4・5回、団体月2回） | ○（常時開設）         | 環境保健部リサイクル推進課 03（5246）1291                                                        |
|           | 墨田区  | ○（民間団体を後援）                 | ○（金曜日から日曜日に開店）  | リサイクル運動市民の会 03（3226）6800（フリーマーケット）<br>すみだリサイクル活動センター03（5611）7740 月・火休み（リサイクルコーナー） |
|           | 江東区  | ○（大規模年1回 小規模年6回）           | ○（常時開設）         | 土木部リサイクル推進課 03（3647）9111                                                          |
|           | 品川区  | ○（区主催年2回、消費者団体主催 不定期）      | ○（常時開設）         | 品川区消費者センター 03（5718）7181                                                           |
|           | 目黒区  | ○（年4回）                     | ○（常時開設）         | 地域振興部リサイクル推進課 03（3715）2784                                                        |
|           | 大田区  | ○（年1回）                     | ○（常時開設）         | 環境部リサイクル推進担当課 03（3773）5656                                                        |
|           | 世田谷区 | ○（年9回）                     | 開設していない         | 環境部リサイクル推進課 03（5432）1111（内2287～9）                                                 |
|           | 渋谷区  | ○（年2回 春・秋）                 | ○（常時開設）         | 環境部生活環境課リサイクル推進係 03（5489）1083                                                     |
|           | 中野区  | 実施していない                    | 不用品の情報提供        | 環境建築部環境・リサイクル課 03（3228）5563                                                       |
|           | 杉並区  | 実施していない                    | ○（不用品情報コーナーもあり） | リサイクルショップすぎなみ 03（5373）0669                                                        |
|           | 豊島区  | ○（年4回）                     | ○（常時開設）         | リサイクル事業課 03（3981）1111（内2492）                                                      |
|           | 北区   | ○（年3回 4・7・10月）             | ○（第1・第2日曜日に開設）  | 区民部リサイクル生活課 03（3908）1111（内2451）                                                   |
|           | 荒川区  | ○（年4回 3・5・9・11月）           | ○（大型家具につき年2回）   | 地域振興部リサイクル・消費生活課 03（3803）2396                                                     |
|           | 板橋区  | ○（年1回 5月第2土曜日）             | ○（常時開設）         | 板橋区立エコポリスセンター 03（5970）5001                                                        |
|           | 練馬区  | ○（登録団体による開催 年104回）         | ○（常時開設）         | 生活文化部区民生活課リサイクル係 03（3993）1111                                                     |
|           | 足立区  | ○（年2回）                     | ○（常時開設）         | 地域振興部リサイクル推進課 03（3880）5111                                                        |
|           | 葛飾区  | ○（年8回）                     | ○（週3日 10～15時開設） | 生活文化部リサイクル消費生活課 03（3695）1111                                                      |
|           | 江戸川区 | ○（年10回）                    | 開設していない         | 広報紙に掲載                                                                            |

|          |      | フリーマーケット                 | リサイクルコーナー       | 問い合わせ先（主にフリーマーケット）                              |
|----------|------|--------------------------|-----------------|-------------------------------------------------|
| 甲信越・中部   | 新潟市  | 実施していない                  | ○（常時開設）         | 新潟市資源再生センター内エコプラザ 025(270)3009                  |
|          | 富山市  | 実施していない                  | ○（常時開設）         | 富山地区広域圏リサイクルセンター内リサイクルプラザ 0764（29）3121          |
|          | 金沢市  | 実施していない                  | 不用品の登録、紹介を行う    | 市民生活部市民相談課 076（220）2026                         |
|          | 福井市  | ○（民間団体に委託 年1回 10月下旬）     | 開設していない         | 福井市のくらしと環境をよくする会 0776（20）5300<br>（生活文化課内、市から委託） |
|          | 甲府市  | 実施していない                  | ○（民間に委託）        | なでしこ工房 甲府市上町601－4（リサイクルコーナー）                    |
|          | 長野市  | ○（年1回）                   | ○（常時開設）         | 長野市清掃センター内リフレッシュプラザ 026（222）3196                |
|          | 岐阜市  | ○（年1回）                   | '98年4月開設        | 生活環境部環境1課リサイクル推進室 058（265）4141                  |
|          | 静岡市  | ○（年2回 5月・10月）            | 生活用品活用バンクあり     | 静岡市消費者協会 054（221）1054                           |
|          | 名古屋市 | ○（月1回 原則第4日曜日）           | 開設していない         | 名古屋市リサイクル推進センター 052（523）5300                    |
| 近畿・山陽・山陰 | 津市   | ○（年2回 夏・秋）               | リサイクル情報の提供を行う   | 津市役所 059(229) 3169                              |
|          | 大津市  | ○（年1回 9月23日）             | 開設していない         | 環境部ごみ対策課 0775（23）1234                           |
|          | 京都市  | ○（年2回）                   | 開設していない         | 清掃局ごみ減量リサイクル推進室 075（222）4091                    |
|          | 大阪市  | ○（年4回）                   | ○（常時開設）         | 環境事業局減量美化推進課 06（365）6129                        |
|          | 神戸市  | ○（年10回 区開催分を含む）          | 開設していない         | 環境局業務部計画課 078（322）5284                          |
|          | 奈良市  | ○（年1回 10月上旬ごろ）           | ○（福祉団体がイベントで開催） | 環境清美部企画総務課 0742（71）3001                         |
|          | 鳥取市  | 実施していない                  | ○（常時開設）         | リファレーンいなば（不燃物処理場のリサイクルプラザ） 0857（59）1807         |
|          | 松江市  | ○（年2回 7月・11月）            | ○（催し物があるときに開設）  | 環境保全部清掃課 0852（55）5282                           |
|          | 広島市  | 今後行う予定                   | ○（常時開設）         | 広島市西部リサイクルプラザ 082（501）2600                      |
| 四国       | 山口市  | ○（2か月に1回 偶数月の第2日曜日）      | ○（常時開設）         | 山口市リサイクルプラザ 0839（27）1770                        |
|          | 高松市  | ○（2年に1回）                 | ○（催し物があるときに開設）  | 環境部リサイクル推進課 0878（34）0366                        |
|          | 松山市  | ○（企業・団体に委託 年1回 6月の最終日曜日） | 開設していない         | 環境部清掃総務課 089（921）5516                           |
|          | 高知市  | ○（消費者団体と共催、年1回 11月第3土曜日） | 開設していない         | 市民生活課 0888（23）9433                              |
| 九州・沖縄    | 北九州市 | ○（市が後援し民間団体が実施）          | ○（常時開設）         | 北九州市リサイクルプラザ 093（693）8539                       |
|          | 福岡市  | ○（月1回 毎月14日に近い日曜日）       | ○（常時開設）         | 環境局ごみ減量推進課 092(711)4346                         |
|          | 長崎市  | ○（年1回 8月か9月）             | 開設していない         | 環境部リサイクル推進室 095（829）1239                        |
|          | 熊本市  | ○（市主催で民間業者へ委託 年1回 10月）   | ○（常時開設）         | 減量美化推進課 096（328）2892                            |
|          | 大分市  | ○（年1回 10月）               | 開設していない         | 保健環境部清掃管理課 0975（34）6111（内1523）                  |
|          | 宮崎市  | ○（年2回 春・秋）               | ○（催し物があるときに開設）  | 環境部環境業務課 0985（21）1762                           |
|          | 鹿児島市 | ○（年2回 春・秋）               | ○（催し物があるときに開設）  | 環境局清掃部管理課ごみ減量係 099（224）1111                     |
|          | 那覇市  | 実施していない                  | ○（催し物があるときに開設）  | 那覇市リサイクルプラザ 098（889）5355                        |

＊アンケートを送付した自治体のうち、公表の意思があり、かつ開催・設置の回答があった市区について掲載

表2 フリーマーケット実施団体の例

| 団体名                   | 住所・連絡先                                                      | 会員制の有無                             | 主な開催場所           | 開催頻度                   |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------|------------------------------------|------------------|------------------------|
| エコロジネットワーク<br>”にんじん村” | 茨城県水戸市五軒町1-3-7<br>029 (224) 5848                            | なし                                 | 水戸芸術館<br>ひろば     | 月に1回                   |
| リサイクルアクト              | 千葉県習志野市津田沼2-3-44<br>0474 (74) 4699                          | なし                                 | 千葉県内が主           | 月に5～6回                 |
| 日本リサイクル運動<br>市民の会     | 東京都新宿区袋町3 エコロジーセンタービル<br>03 (5228) 3320<br>＊札幌、静岡、名古屋、大阪に支部 | なし                                 | 埼玉、東京、<br>神奈川など  | 年に45～50回               |
| リサイクル運動<br>市民の会       | 東京都新宿区大京町2-29<br>03 (3226) 6800<br>＊北海道、千葉、埼玉、神奈川、静岡に支部     | あり(出店は原則<br>会員だが、1度だけ<br>試し参加を認める) | 東京、神奈川、<br>埼玉、千葉 | 年に500回<br>首都圏で毎週<br>開催 |
| リサイクル運動<br>推進事業協会     | 神奈川県横浜市港北区日吉本町5-67-36<br>045 (565) 2227                     | なし                                 | 東京、神奈川<br>など     | 月に4～5回                 |
| 中部リサイクル運動<br>市民の会     | 愛知県名古屋市東区徳川2-11-17<br>052 (932) 9878                        | なし                                 | 公園、スーパー<br>など    | 月に4回程度                 |
| (株)エフエムワン・<br>オー・ワン   | 大阪府中央区西心斎橋2-18-6-601<br>06 (212) 2221                       | あり(出店は会員<br>に限る)                   | 南港、中埠頭           | 月に2回                   |
| 日本ガレージセール<br>協会       | 大阪府北区西天満5-6-12<br>06 (362) 6322                             | あり(出店は会員<br>に限る)                   | 大阪市、神戸市          | 週に1～2回                 |
| 日本フリーマーケット<br>協会      | 大阪府西区立売堀2-4-19 日東ビル<br>06 (531) 8417                        | あり(出店は会員<br>に限る)                   | 近畿               | 週に2～3回                 |
| ノーマライゼーション<br>クラブ     | 大阪市東淀川区西淡路2-3-4<br>06 (321) 2605                            | なし(申し込み者<br>の登録制あり)                | 新大阪駅<br>東口広場     | 週に1回                   |
| (社)京都ボランティア<br>協会     | 京都市上京区堀川丸太町下ル<br>075 (842) 0657                             | あり                                 | スーパー、展示場<br>お寺   | 年に1回                   |
| 西日本リサイクル<br>運動市民の会    | 福岡市中央区天神4-5-10-306<br>092 (752) 7760                        | なし                                 | 公園、商業施設<br>など    | 週に2回                   |
| 沖縄リサイクル運動<br>市民の会     | 沖縄県那覇市首里鳥堀町4-44-1<br>098 (886) 3037                         | あり                                 | パレットくもじ、<br>など   | 月に1回                   |

表3   フリーマーケット実施団体のクレーム対応

| 団体名                | 購入者から商品などに対するクレームが来たときの対応                                                       | 購入した商品を返品したいというケースへの対応                                 |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| エコロジネットワーク”にんじん村”  | 基本的には、当事者どうしで、ということで対応している。出店者がわかる場合は、連絡先を教えている                                 |                                                        |
| リサイクルアクト           | その商品の販売者に連絡を取り、話し合う                                                             | 返品の理由などを聞いたうえで判断する<br>当人どうしの話し合いの場合もある                 |
| 日本リサイクル運動市民の会      | 当日、会場での場合は双方で話し合ってもら<br>後日の場合は、その時々により対応する                                      | 当日、会場での場合は、仲介に立ち、話し合っ<br>てもらう                          |
| リサイクル運動市民の会        | 販売した会員に返品を指導する。また、販売<br>方法や商品説明をどう行ったかの事情を聞く                                    | すべて販売者に返品を行わせている                                       |
| リサイクル運動推進事業協会      | 購入先（区画の場所）が特定できれば、出店者の特徴と照らし合わせたうえで、連絡先を教え<br>直接交渉してもらう                         |                                                        |
| 中部リサイクル運動市民の会      | 特別な対応はしない。会場で当人どうしが納得<br>して買うというのが基本という考え方                                      | 左記のルールを理解してもらい、次回から気をつ<br>けて買い物をするよう願う。返品は不可能          |
| （株）エフエムワン・オー<br>ワン | 出店者を探して、買った人に知らせる<br>（交換、または返品する）                                               | 理由を聞いて出店者に連絡、返品を受ける                                    |
| 日本ガレージ協会           | 出店者を調べ、出店者と購入者で話し合ってもら                                                          |                                                        |
| 日本フリーマーケット協<br>会   | 出店者が特定できた場合は、連絡を取り、購入者と話し合ってもら<br>（基本的には、当事者間で処理してもらう）                          |                                                        |
| ノーマライゼーション<br>クラブ  | 出店者が確定できる場合は、連絡を取り、対応している（ふだんから出店者にはアフターサービス<br>が必要なものを販売するときは、連絡先を伝えるよう指導している） |                                                        |
| （社）京都ボランティア協<br>会  | 当事者どうしで話し合って処理してもら                                                              |                                                        |
| 西日本リサイクル運動市民の<br>会 | 原則として当事者どうしで責任をとってもら<br>販売した人の連絡先がわかる場合は、紹介する                                   |                                                        |
| 沖縄リサイクル運動市民の<br>会  | 販売者とコミュニケーションを取りながらの購入<br>なので、買うときにもっと注意するようにアドバ<br>イス（具体的には対応しない）              | 出店ブースが判明している場合は、出店者に<br>連絡を取り、話をつけるが、ほとんどの場合確定<br>できない |

詳しくは、国民生活センター発行のデータ・バンク報告書「フリーマーケット、リサイクルショップ、リサイクルコーナーを利用する」（定価800円＋税）をご覧ください。

注）3つの表は、上記の報告書のアンケート結果をもとに作成した。

<title>リサイクル・リユース時代の不用品活用法ーフリーマーケット、リサイクルショップ、リサイクルコーナーを利用する</title>